

気仙沼市国民健康保険

第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）

第3期特定健康診査等実施計画

概要版



気仙沼市
観光キャラクター
海の子 ホヤぼーや

気仙沼市国民健康保険では、被保険者の健康保持増進のために、特定健康診査の結果やレセプト等のデータ分析に基づき、保健事業をPDCAサイクルに沿って効果的・効率的に実施することを目的とした「データヘルス計画」と、生活習慣病予防のための特定健康診査及び特定保健指導の具体的な実施方法を定めた「特定健康診査等実施計画」を一体的に策定しました。

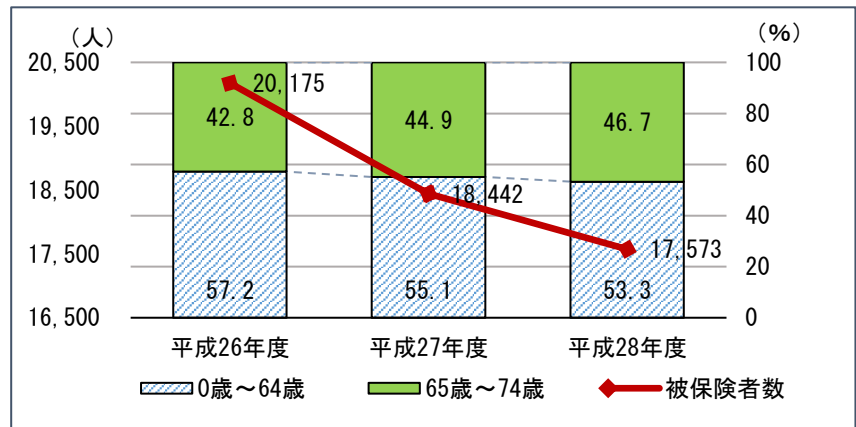
【計画期間】 2018年度から2023年度までの6年間

1 気仙沼市の現状

(1) 被保険者の推移

被保険者数は減少傾向にある一方で65歳以上の高齢者の割合は年々増加しています。

国保被保険者数と年齢構成割合



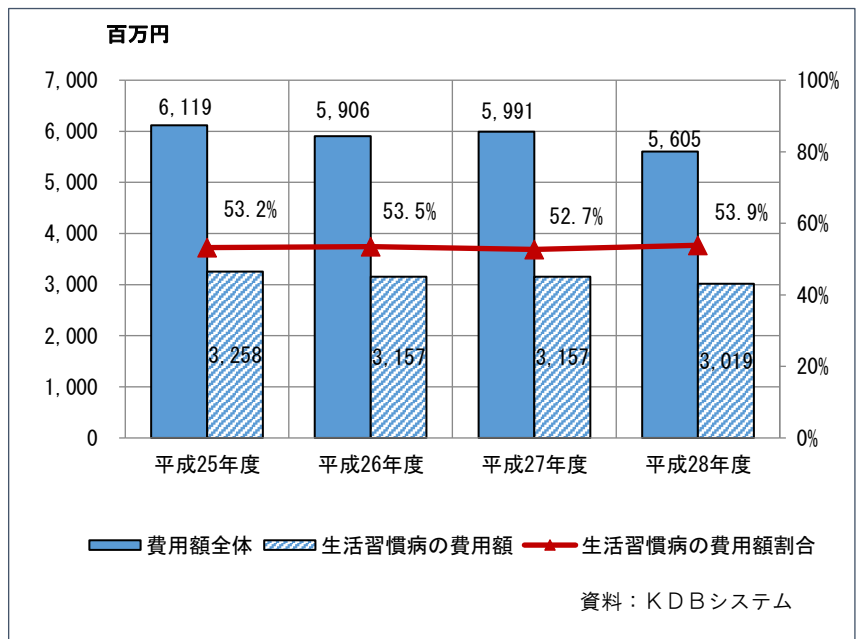
(2) 医療費の状況

被保険者数の減少に伴い、医療費は減少傾向にあります。医療費に占める生活習慣病の費用の割合は50%を超えています。

平成28年度の1保険者あたり疾病別外来医療費点数では、1位「糖尿病」、2位「高血圧症」、3位「慢性腎不全（透析あり）」と生活習慣病が上位を占めています。

生活習慣病にかかる一件あたりの医療費では、人工透析に係る医療費が最も多く全体の87.7%となっています。

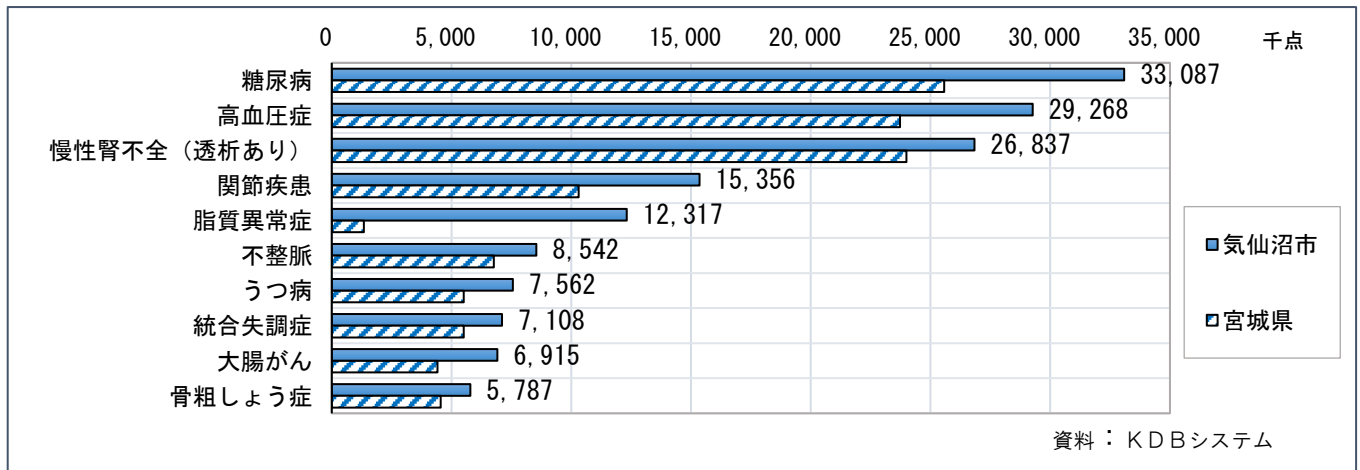
医療費（費用額）に占める生活習慣病の割合



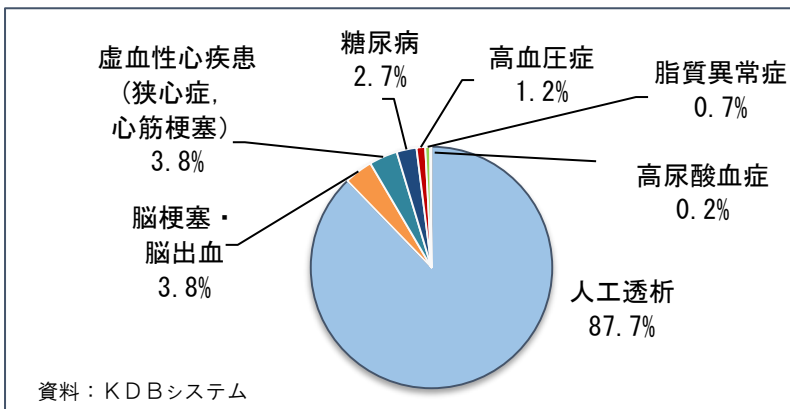
資料：KDBシステム

【KDBシステム（国保データベースシステム）】とは？

国保中央会が開発したデータ分析システムのこと。医療費だけでなく、健診情報や介護認定情報も併せて分析できるシステム。



生活習慣病にかかる 1 件あたり医療費の割合



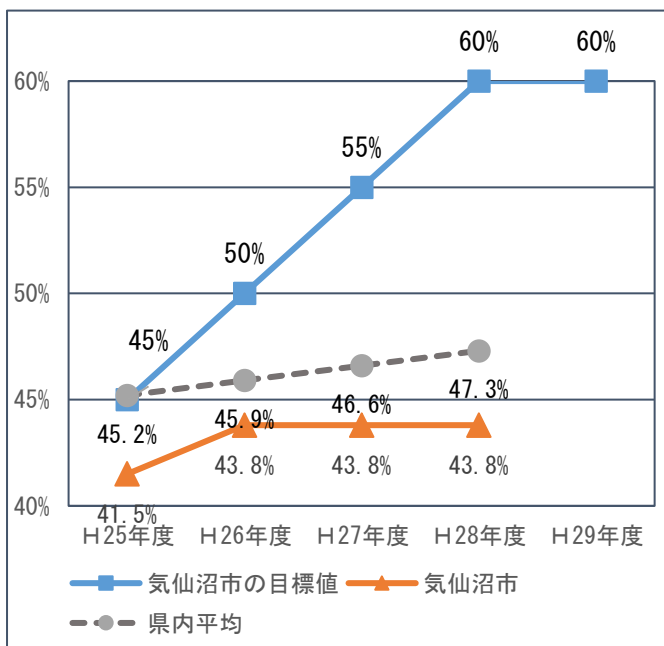
健診の結果
有所見者割合は血糖値をあらわす [HbA1c] が増加しています。

【HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)とは?】
赤血球の中にある酸素を運ぶヘモグロビンに血液中の糖が結合したもので、過去 1~2 か月間の平均血糖値を表します。

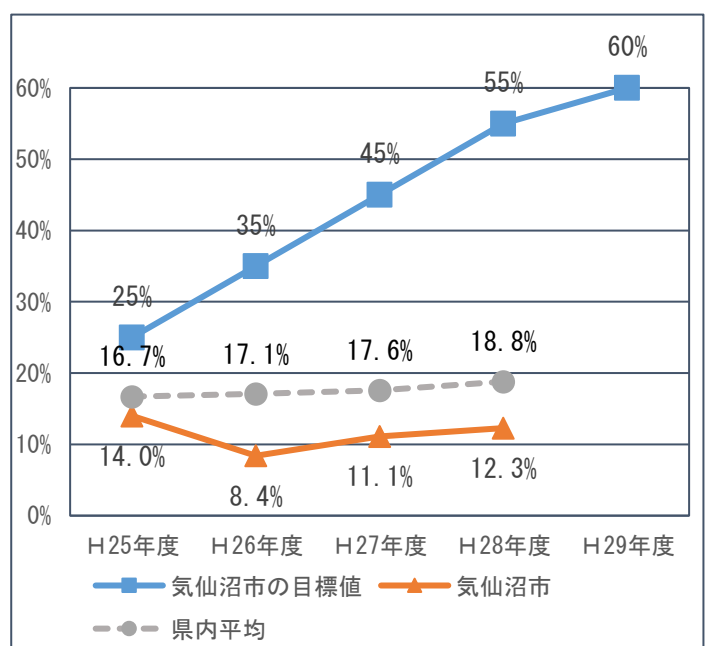
(3) 特定健康健康診査・特定保健指導の状況

特定健康診査の受診率は、平成 28 年度は 43.8%で、県平均より低く、特に 40 歳代の男性の受診率が低くなっています。特定保健指導の終了率は、平成 28 年度は 12.3%と前年度と比較し増加したものの、国、県と比較すると低い状況です。また、メタボリックシンドローム対象者の割合は平成 28 年度 30.47%と県内平均を下回りましたが、高い状況にあります。

第 2 期特定健康診査受診率



第 2 期特定保健指導終了率



2 気仙沼市の課題

- ◆糖尿病を発症する前の段階で、早期に医療機関を受診することや、生活習慣の改善を促し、病気の重症化予防について、強く働きかける必要がある。
- ◆新たな人工透析患者を増やさないため、糖尿病性腎症重症化予防に向けた、適切な保健指導を医療機関と連携して行う必要がある。
- ◆働く世代（特に男性）の特定健康診査未受診者に対し健康診査受診の必要性に関する啓発や受診しやすい体制づくりが必要。
- ◆運動の取組の必要性の理解や、過剰なエネルギー摂取にならないための知識の普及・啓発を図る必要がある。

3 目標の設定と保健事業

一人ひとりが若い頃から、定期的に健康診査を受診するなど、主体的に健康づくりに取り組むよう、生活習慣病に関する知識の啓発普及を図ると共に、医療機関の受診が必要な方への受診勧奨など、適切な治療の意識を高める啓発を行い、生活習慣病の重症化予防に取り組み、健康寿命を延ばし豊かな人生を送ることを目指します。

そのために、以下のような目標を達成に向けた取り組みを進めます。

(1) 特定健康診査等実施計画の目標値

※最終年度の目標値は国の指針に基づき設定

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
受診率目標	50%	52%	54%	56%	58%	60%以上
終了率目標	20%	28%	36%	44%	52%	60%

(2) 優先的に取り組む保健事業

- ① 特定健康診査未受診者勧奨事業（第1期計画より継続）
《目標：最終年度 受診率 60%以上》
- ② 特定保健指導の利用勧奨事業（第1期計画より継続）
《目標：最終年度 終了率 60%》
- ③ 特定健康診査の血圧高値で未受診者への訪問指導（第1期計画より継続）
《目標：受診勧奨後3ヶ月以内の医療機関受診率 60%》
- ④ 特定健康診査の血糖高値未受診者への訪問指導（第1期計画より継続）
《目標：受診勧奨後3ヶ月以内の医療機関受診率 70%》
- ⑤ 糖尿病性腎症重症化予防事業（新規／平成29年度～）
《目標：事業参加者の終了率 100% ， 次年度の検査数値悪化阻止率 100%》
- ⑥ 国保一日人間ドック事業（対象年齢拡大／平成29年度～）
《目標：受診率平均 25%以上、翌年度健診受診率 100%》



第1期データヘルス計画における重点的な取り組み（継続）

- 高血圧者・高血糖者の減少を中心とした重症化予防事業等の実施
 - ・生活習慣病予防に関する知識の普及・啓発事業
 - ・若年層における特定健康診査受診率の向上対策
 - ・特定保健指導終了率の向上対策

4 評価と見直し

◆毎年度評価

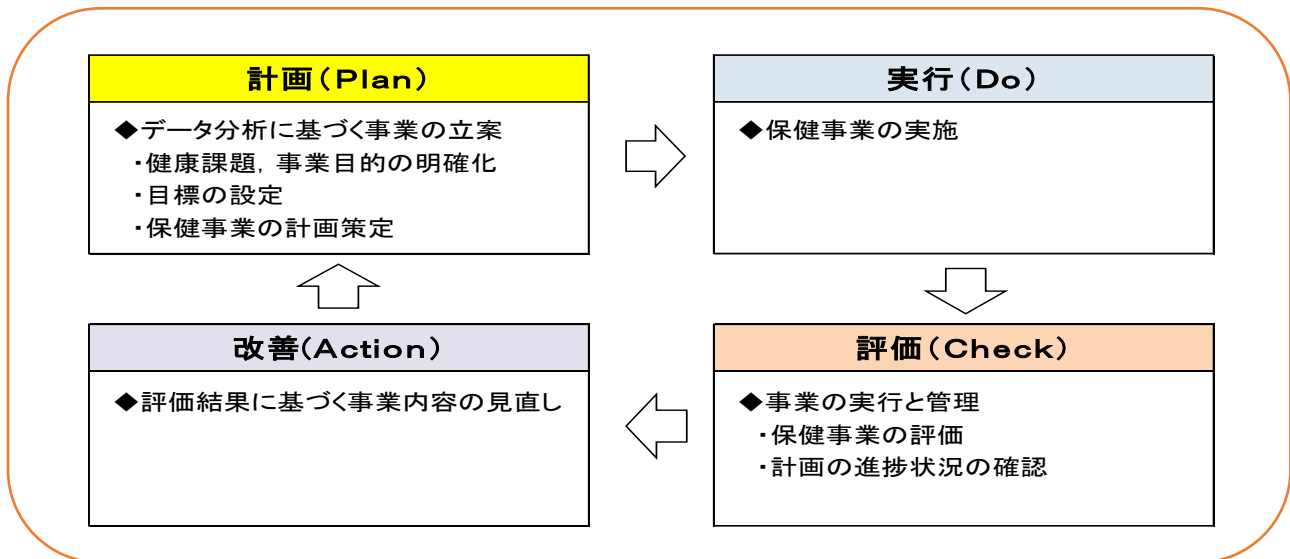
個別の保健事業については、事業毎に策定する事業評価計画を、毎年度P（計画）D（実施）C（評価）A（改善）サイクルに沿って評価見直しをおこないます。

◆中間評価

2020年度に中間評価を実施し目標値の達成状況や計画の進捗管理を行い必要に応じて見直し等をおこないます。

◆計画最終年度の評価

2023年度上半期に仮評価を実施し、中間評価も踏まえて全体的な評価・見直しを行い、2023年度中に次期計画の策定を目指します。



特定健診・特定保健指導を受けましょう！！

健診は自覚症状のないまま進行する病気を早期に発見できます。年に1回は健診を受けて、からだの状態を確認し健康寿命をのばしましょう！

気仙沼市国民健康保険

第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第3期特定健康診査等実施計画 【概要版】

平成30年5月

気仙沼市市民生活部保険課

気仙沼市保健福祉部健康増進課